

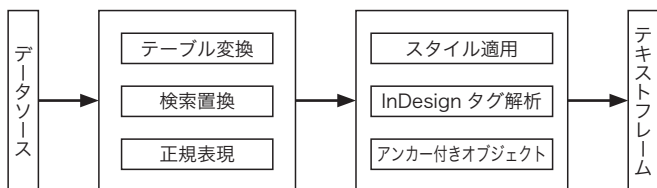
QuarkXPress 版と比べて不足していた機能が追加されました。InDesign の優れた表組機能、スタイル機能、正規表現機能などと相まってシリーズ最強の組版能力を獲得しました。また、チラシ制作での導入が加速してきていることをふまえ、対話組版のみで制作を行うフローにも耐えうるべく機能を強化しています。

オブジェクト機能

オブジェクト配置フレームにより、組版時に他の InDesign ドキュメントのオブジェクトをコピーして配置したり、テンプレートに追加することが可能です。オブジェクト配置フレームではオブジェクトをコピーしますので、組版後は取り込んだオブジェクトの編集が可能となります。オブジェクトは名前を指定して取り込むことができるので、既存のドキュメントのオブジェクトに名前を付ければ、自動組版ドキュメントからこれらのオブジェクトを取り込んで流用することが簡単にできます。また、DBPublisher/i の自動組版で名前の付いた取り込み用のオブジェクトを生成させる機能も用意されています。製品仕様などの複雑な表組を自動組版で別途生成しておき、カタログ紙面で仕様部分をオブジェクトとして取り込むことにより複雑なレイアウトにも対応できます。

テキスト変換

ユーザーが定義できる変換テーブルを利用して、テキストの変換とスタイルの適用を同時に行うことができます。完全一致による単純な変換に加えて、正規表現での検索置換による変換が可能です。変換されたテキストはそのままテキストフレームに挿入することもできますが、InDesign タグとして解析してから挿入したり、同名のグラフィックファイルをアンカー付きオブジェクトとして挿入することも可能です。これらの機能により、単純なテーブル変換はもとより、外字変換、ルビ挿入、ユーザー定義タグの InDesign タグへの変換、アイコン挿入などが可能となります。データソース側での前処理の負担を大幅に軽減できます。



※本機能を適用したフィールドでは双方向リンクによる書き戻しは働きません。

テンプレート全体のサイズ変更

テンプレート全体 (最上位のグループ) のサイズが変更された場合に、テンプレートを構成する個々のオブジェクトをどのように伸縮させるのか、または移動させるのかを指定することができます。同一テンプレート内のフレームに対して、価格のフレームはフレームとテキストの両方を拡大縮小し、他のフレームはテキストのサイズを変更せずに左下に移動するといった設定が可能です。拡大縮小率に段階を設定することができるので、テキストのサイズが不揃いになるのを最小限に抑えることができます。

特殊フィールドのサイズフィールドによりデータソース側から数値指定でテンプレートのサイズを変更することが可能な他、組版領域や割付けフレームなどへのフィットや、特定のフレームの伸張と同期してテンプレート全体のサイズを動的に変更することができます。

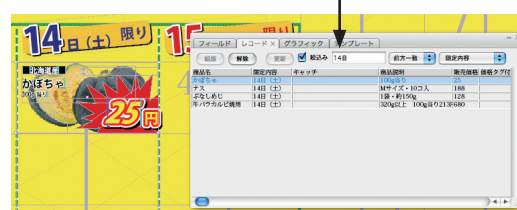
割付け機能

割付け機能により、デザイン済みのドキュメントページに対して組版後のテンプレートを配置することが可能となります。新しく追加された割付けフレームにより、どの商品をどのテンプレートで組版してどこに配置するかをドキュメントページ上で指定しておき、指定した割付け指示に従って一括して組版を実行することができます。追加されたデータの商品のみを組版したり、削除されたデータに対応するテンプレートを紙面から削除したり、最新のデータでドキュメントを更新することなどが可能です。割付けフレームに合わせてテンプレート全体を拡大縮小させることも可能で、この場合には上述のテンプレート全体のサイズ変更の機能が働きます。

対話組版機能の強化

パネルからのドラッグ&ドロップの操作により、フィールド挿入、組版、データ差替え、テンプレート配置、テンプレート差替えなどの操作ができるようになりました。パネルに表示されるレコードを絞り込む機能も用意され、必要なデータに素早くアクセスできるようになりました。対話組版の効率が格段に向上します。

14日の特売商品だけに絞り込んでからドラッグ&ドロップで商品を配置



自動複製機能

一つのフィールドに複数のデータ項目を含めることにより、テンプレート内のフィールドテンプレート、テキストフレームまたはグラフィックフレームをデータ項目の数だけ自動的に複製して組版を行うことができます。一つのテンプレート内に個数が不特定の複数の商品や画像などを組版する場合に威力を発揮します。フレーム削除や空行削除の機能などでも同様の効果を得ることができますが、自動複製機能では最大数を決める必要がなく設定の手間も軽減されます。チラシで多用される同一価格の複数の商品を一つにまとめて掲載するようなケースで活躍します。



指定レイヤーへのテンプレート配置機能

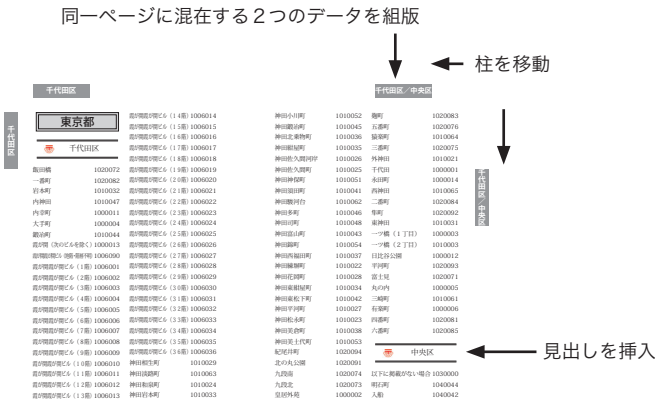
特殊フィールドのレイヤーフィールドにより、指定のレイヤーにテンプレートを配置します。レイヤーがない場合には作成します。同一ページに複数のメーカーの商品が混在するようなレイアウトで校正はメーカー毎に出力したい時などに便利な機能です。

クリエイティブ版

自動組版機能を取り除き、テンプレート作成から対話組版までが可能な製品としてクリエイティブ版が追加されました。

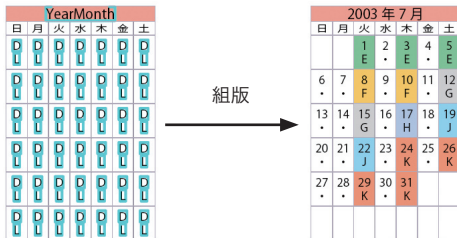
ブレイク処理

自動組版では、特定のフィールドのデータの変化を検出して見出しや改段や改ページなどを挿入したり、柱の位置を移動することができます。次の例では、右ページで「市区町村」フィールドのデータが「千代田区」から「中央区」に変化する時点で見出しを挿入し、柱を移動し、柱に「千代田区」と「中央区」の両方のデータを自動で組版しています。



スタイルフィールド

フレーム毎に割り当て可能なスタイルフィールドにより、データソース側から指定したスタイル名でフレームにオブジェクトスタイルを適用することができます。次の例では、料金ランク毎にカラーの異なるオブジェクトスタイルを作成し、出発日によってフレーム（表の場合はセル）のカラーを変更しています。



変形フィールド

フレーム毎に割り当て可能な変形フィールドにより、各フレームの位置やサイズをコントロールしたり編集後の情報を書き戻すことができます。グラフィックフレームではトリミング情報を書き戻せるので2回目以降の組版ではトリミング作業の手間を省くことができます。

特殊フィールド

ドキュメント毎に割り当て可能な特殊フィールドにより、レコード毎にテンプレートを指定したりノンブルを書き戻せます。

文字あふれ処理

テキストフレームやセルがオーバーセットした場合や特定のフィールドが指定行数以内に収まらなかった場合に、水平比率やフォントサイズやかな詰めなどを調整して、あふれた文字を制限内に納めることができます。タブの範囲に文字を納める処理も用意されています。

表

いくつかの方法でInDesignの表への組版ができます。次の例では表への組版後に同一テキストのセルを結合しています。

ボールペン	ログサイズ芯																						
	<ul style="list-style-type: none"> ●ノック式ボールペンでログサイズ芯を採用しました。40%インク量が増えてお値段はそのままです。 ●インクの赤た落ちのないソフトインクを使用しています。 ●ロンググリップ付きです手にぴったりフィットします。 																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品番</th> <th>色</th> <th>価格</th> <th>1箱</th> <th>2箱</th> <th>3箱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GB-C1-34258</td> <td>ブラック</td> <td rowspan="3">1,000円</td> <td rowspan="3">799円</td> <td rowspan="3">770円</td> <td rowspan="3">739円</td> </tr> <tr> <td>GB-C1-34259</td> <td>レッド</td> </tr> <tr> <td>GB-C1-34260</td> <td>ブラック</td> </tr> <tr> <td>GB-C1-34261</td> <td>ブラック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品番	色	価格	1箱	2箱	3箱	GB-C1-34258	ブラック	1,000円	799円	770円	739円	GB-C1-34259	レッド	GB-C1-34260	ブラック	GB-C1-34261	ブラック				
	品番	色	価格	1箱	2箱	3箱																	
	GB-C1-34258	ブラック	1,000円	799円	770円	739円																	
	GB-C1-34259	レッド																					
GB-C1-34260	ブラック																						
GB-C1-34261	ブラック																						

グループ解除

組版後にグループを解除しても双方向リンク機能を維持することができます。グループが解除された場合であっても、パネルでコードを選択すると対応するデータで組版された一連のフレームが全て選択されるので、データと組版後のオブジェクトの関連を容易に把握できます。

	プロフェッショナル	ランタイム	クリエイティブ	ディベロッパー
特徴	DBPublisher シリーズの核をなす高機能プラグインです。自動組版設計を含むデータベース出版に必要な全ての機能を備えています。	プロフェッショナル版で設定が完了したドキュメントの自動組版の実行と組版後のドキュメントの修正が可能で廉価版です。ランタイム版単独では自動組版設定等ができません。	データソースを利用した1商品ごとにデザイン作業を支援するための製品です。この製品単体でテンプレートの設計から対話組版までを行うことができます。プロフェッショナル版などで自動生成したドキュメントの編集にも利用できます。	全自動組版システムを構築するのに必要な機能を搭載した開発者向けパッケージです。スクリプティングとホットフォルダによる自動組版実行機能が追加されています。InDesign Server で動作させることも可能です。
機能	テンプレート設計	○	○	○
	対話組版	○	○	○
	自動組版設計	○	×	×
	自動組版実行	○	○	×
	データベース双方向	○	○	○
	全自動組版機能	×	×	×
動作環境	InDesign CS3/CS4	○	○	○
	InDesign Server CS3/CS4	×	×	○
	Macintosh	○	○	○
	Windows	○	○	○
ハードウェア環境	※ USB ポートがハードウェアキーの接続に必要 ※ CD-ROM ドライブがソフトウェアのインストールに必要			
税込標準価格	630,000円 (本体価格 600,000円)	210,000円 (本体価格 200,000)	105,000円 (本体価格 100,000)	開発中

※仕様および価格は予告無く変更されることがあります。※ InDesign 用の製品は QuarkXPress 用の製品とは機能が異なり、ドキュメントやデータの互換性はありません。相互に類似する機能がある場合であっても細部の仕様や動作が異なることがあります。※本製品はドキュメントに本製品固有の情報を埋め込みますが、必要に応じてこれらの情報を全て削除する機能が用意されています。※見出しや柱に対してはデータベース双方向機能は動きません。※データベース双方向機能につきましては運用の仕方によっては思わぬ結果をまねく恐れがあります。(例えばデータソース側と InDesign ドキュメント側の両方で並行して修正を行うなど) 本機能につきましては、その動作を十分にご理解いただき、徹底した運用ルールのもとでご利用いただくことを推奨いたします。※お使いのシステム的环境、およびご利用方法によっては記載以外の制限が発生する場合もございますので予めご了承ください。